

2023年10月28日[土] 14:00—17:05

京都大学 吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟シンポジウムホール(西館5階)

一般公開 | 入場無料 | 定員200人(事前予約が必要です)

# 越境する

第1部 | 14:00-15:20

「作品づくりと社会貢献の両立を目指して」

## ●坂茂 | 建築家

1957年東京生まれ。77-80年、南カリフォルニア建築大学(SCI-Arc)在学。84年クーパー・ユニオン建築学部(ニューヨーク)を卒業。82-83年、磯崎新アトリエに勤務。85年、坂茂建築設計を設立。95年から国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) コンサルタント、同時に災害支援活動団体ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN)設立。

これまでに、フランス建築アカデミーゴールドメダル(2004)、日本建築学会賞作品部門(2009)、フランス国家功労勲章オフィシエ(2010)、オーギュスト・ペレ賞(2011)、芸術選奨文化科学大臣賞(2012)、フランス芸術文化勲章コマンドゥール(2014)、プリツカー建築賞(2014)、JIA日本建築大賞(2015)、紫綬褒章(2017)、マザー・テレサ社会正義賞(2017)、アストゥリアス皇太子賞(2022)など受賞。現在 New European Bauhaus の high-level roundtable メンバー、芝浦工業大学特別招聘教授。



# 美と

第2部 | 15:45-17:05

「カルチュラルアントレプレナーシップの時代」

## ●松山智一 | 現代美術家

1976年岐阜県出身、ブルックリンを拠点に活動。上智大学卒業後2002年渡米。NY Pratt Instituteを首席で卒業。ペインティングを中心に彫刻やインスタレーションも手がける。作品には、東洋と西洋、古代と現代、具象と抽象といった両極の要素が見られ、これは日本とアメリカの両国で育った松山自身の経験や情報化の中で移ろいゆく現代社会が反映されている。

ロサンゼルス・カウンティ美術館、サンフランシスコアジア美術館、マイアミ・ベレス美術館、龍美術館、宝龍美術館、Microsoftコレクション、香港のK11 Art Foundation、ドバイ酋長国の王室コレクション等に作品が収蔵されている。2012年から2017年5月までの5年間、School of Visual Arts (SVA) の非常勤教授を勤めた。パワー・ミュージアムでの壁画制作(ニューヨーク/米国、2019年)や、《花尾》(新宿東口駅前広場、東京、2020年)、《Wheels of Fortune》(「神宮の社芸術祝祭」明治神宮、東京、2020年)など、大規模なパブリックアートプロジェクトも手がけている。



# リーダーシップ

## ●本多正俊志 | (第2部対談) 京都大学産官学連携本部特任准教授

主催 京都大学産官学連携本部 | 後援 一般財団法人三菱みらい育成財団

お問い合わせ 京都大学産官学連携本部イノベーション マネジメント サイエンス起業・教育部 mail——ims@saci.kyoto-u.ac.jp

申込方法 左記QRコードリンク先のフォームよりお申し込みください [https://forms.gle/D1A7k7qyHPjtBr8]

テクノロジーが美となる時——都市とデータから未来を考える—— [https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/event/place/other/14669.html]



「行動」する世界的建築家・教育者 坂茂氏と、ニューヨークのスタジオを率いる美術家 松山智一氏から学ぶフロンティア精神・アントレプレナーシップとは。「テクノロジーが美となる時」——都市とデータから未来を考える—— | 関連企画として特別講演を開催します。